

研究機関名：東北大学

受付番号： 2014-1-391
研究課題名：早期慢性膵炎の予後に関するアンケート調査
研究期間 西暦 2014年 9月（倫理委員会承認後）～ 2017年 3月
対象材料 <input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名 ） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録に記載されている診療情報）
上記材料の採取期間 西暦 2009年 10月～ 2014年 11月
意義、目的 慢性膵炎は進行してから治療されたのでは直らない難病です。早期診断、早期治療ができるように、2009年に早期慢性膵炎の診断基準がはじめて作られました。しかし現在のところ、この診断基準が本当に有効に早期慢性膵炎を診断できるのか、まだはっきり分かっていません。本研究では、早期慢性膵炎の診断基準が作成された直後の2009年10月に全国の施設で診断された早期慢性膵炎患者計53名について5年後の診断の変化、どのような治療をされどのように診断が変化したのか。また、確診・準確診に進行した患者さんについては、年齢、性別などの臨床像について、主治医に対するアンケート調査を行うことにより情報を集めることを目的としています。
方法 九州大学肝臓膵臓胆道内科、藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院消化器内科、関西医科大学内科学第三講座消化器内科、東海大学医学部消化器内科学、福島県立医科大学内科学第二講座、東京都立駒込病院内科、京都大学医学部附属病院消化器内科、札幌厚生病院第二消化器科および東北大学消化器内科の医師宛にアンケート票を郵送し、2009年に診断されている早期慢性膵炎患者のその後の診断の変化（慢性膵炎確診・準確診へ進行したのか）、飲酒・喫煙の状態、性別・年齢・発症年齢・内服薬情報について調査を行う。患者個人を識別できる情報はなく、個人情報取り扱いしません。
問い合わせ・苦情等の窓口 担当者：廣田衛久 東北大学消化器病態学分野 仙台市青葉区星陵町1-1 電話番号 022-717-7171